

情報

No.582

島根県教職員協議会

〒693-0011

出雲市大津町2214

Tel 0853(22)7762

Fax 0853(22)7762

代表者 安達利幸

編集人 石原康博

E-mail

office@kyougikai.org

http://

www.kyougikai.org

委員長・書記長合同会開催

市町村教育委員会へ

人事異動申し入れを実施

十一月十七日(土)、島教協は、各支部・単組の委員長と書記長との合同会議を開催した。

今年度の人事異動ルールについて事務局から説明を行い、ルールの共通理解をした後、会員の異動調書記入・提出の方法等を確認した。今年度の主な変更点は、①小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の連携により一貫した教育を推進し、教員の資質の向上を図る各校種間の人事交流においては、指導力・担当教科等を考慮して適正に行う。②適格者については、特別支援学校の教育職員との交流を積極的に行う。その場合、当該教育職員の採用区分は変更せず、交流による勤務は一回につき、五年程度とする。となったことである。

また、調査書については、小学生、中学生を有する家族で、子供と同一校勤務を避けたい場合は、その旨を希望欄に記入することができるようになった。各支部・単組において、市町村教育委員会へ、適正な人事異動が行われるよう、「第一期人事異動に伴う申し入れ」を行うことを決定し、順次実施することとした。

また、次期島教協役員の選出についても安達会長より話があり、来年一月十九日予定の執行委員会にて、役員を選出を行っていくこととした。

申し入れを行うにあたって、今後会員の異動希望調書をまとめいく。学校代表者への提出締め切りは、十二月七日、島教協への提出締め切りは、十二月十一日となっている。締め切り厳守でお願いしたい。

中国ブロック会議参加者を募集しています。(別紙参照)

12月15日 午後2時より香川大学准教授の阪根健二氏が「学校危機管理とは」と題して教育講演会を行います。参加希望の方は、事務局まで!

島教協異動調書

提出締切 12/11(火)

日本教育文化研究所主催
「教育シンポジウム四国」参加報告

坂本龍馬像

十一月二十五日(土)、日本教育文化研究所は、高知県高知市において、「どう育てる子供の規範意識」親の心得、教師の心得」をテーマに、「教育シンポジウム四国」を開催した。

今回は、コーディネーターの日本教育文化研究所の森隆夫所長(お茶の水女子大学名誉教授)より「人間の社会生活において、人生の生き方に関してのマナーやルール等がある。携帯のマナーモードの実施は繰り返し繰り返し車内放送をされた結果であるように、人間としてのマナーモードも、あらゆる機会に繰り返し繰り返し繰り返される必要がある。親、大人、教師が人間のマナーモードのお手本を示すための心得について考えたい。」との提言があった。

3名のパネラーからは、「教育は、家庭で芽が出て、学校で花が咲き、世間で実がなる。」「子供にバランスよく父性や母性が与えられていない。」「学校現場では、父性原理と母性原理の両方が必要。」「優しさと厳しさをバランスよく持った先生によって、自分以外の他人を意識できる学級が育つ。」「子供と大人は違う。ボランテニアは教えるもの。大人がしていないのだから、子供は知らない。」「親や教師が夢に挑戦する。」「など様々な意見が交わされた。コーディネーターの森所長は、「教師の心得として『短気な人は教師になるな』、子供と同じレベルになって怒ってはいけない。」とまとめ、盛会のうちに終了した。

島教協からは、安達利幸会長を始め、七名の会員が参加した。参加した会員からは、「無理をしても参加した会員からはじめていきたい。」などの感想が寄せられた。

一月には、中国ブロック会議(山口県)で養老孟司氏の講演会が予定されている。多くの会員の参加を期待している。



参加した島教協会員

出雲市教職員協議会

出雲市教育委員会に対して要望活動実施

「よりよい環境作り」現場の声を伝える！



黒目出雲市教育長から回答書を受け取る山崎委員長

出雲市教職員協議会は、十一月二十一日(水)、出雲市教育委員会にて、要望活動を行った。黒目俊策教育長はじめ、次長・課長の計四名の教育委員会側に対して、出教協からは、山崎雅彦委員長(湖陵中)をはじめ、七名の執行委員が交渉を行った。

山崎執行委員長は、「私たちには、出雲市の子供たちのために一生懸命職務に専念している職員団体です。幾つか要望させてもらうが、明日の子供たちのためになるように、よろしくお願ひしたい。」と挨拶した。教育長からは、「日頃より子供たちの教育に、熱心に取り組んでいただき感謝している。財政が非常に厳しい中であり、さまざまな施策を全て実施することは難しくなってきたが、最善を尽くしたい。」と挨拶があった。

スクールヘルパー制度の維持、幼稚園教諭の採用数増、AEDの配備、職員の男女兼用トイレ解消、年次有給休暇・週休日の振り替えが取りやすい環境作りなど、現場の声をもとに要望を行った。

また、同日の夕刻より、出雲市教職員協議会は、執行委員会を開催した。出雲市教育委員会要望の詳細報告や来年度の役員選考方法等の検討を行った。

独り言は愚痴にしかならないが、組織の一員としての一言は、組織の声、現場の声として行政に届けることができる。仲間を増やしていきたいと思います。

「教師人間学」学習会

十一月二十六日(月)、愛媛県四国中央市新宮町にて、「教師人間学」学習会が開かれ、石原事務局長が参加した。新宮町には、勇気を与える先人の言葉を石碑に刻んだ十二碑が道沿いに立てられている。この「志の道」を歩いたあと、衆議院議員、小野晋也氏との教育懇談会で、教育の諸問題について意見交換を行った。

心に響く言葉、自分を支える言葉、そんな言葉に思いをはせながらゆつくりと道を歩くのもよいものだという感想を持った。



「坂村真民」の言葉

学校紹介

雲南市立波多小学校

雲南市立波多小学校は、全校児童16名。「楽しい学校・なかよしの学校」をめざし、仲良く助け合っくらしています。来春には統合を控え、閉校行事の

- ①野田山の頂上で校歌を歌う(57名参加)
- ②ふるさと授業・講演会(65名参加)
- ③ふれあい運動会(70名参加)
- ④思い出キャンプ&七夕祭り(60名参加)

が終わりました。次は、11月下旬の「はたっ子祭り」です。地域の皆様に支えられ、児童・教職員、力を合わせ、精一杯頑張りたいと思っています。

雲南市立鍋山小学校

鍋山小学校は、雲南市の国道54号線近くに位置し、掛合町や出雲市と接しています。全校児童は94名です。全校縦割班で行うサマーキャンプや地域の方とのふれあいを大切にした運動会や公民館&鍋っ子フェスティバルは、子どもたちがとても楽しみにしている一大行事です。サマーキャンプでは、毎年川遊びを楽しみますが、今年は天候不良のためミニ運動会を行いました。また、夕食では、子どもたちが作ったカレーを地域の方と一緒に食べ、楽しい時を過ごしました。いろいろな体験活動の充実を図りながら、学習や活動を行っています。